

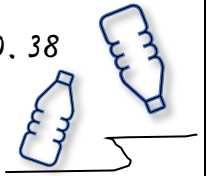


学校だより

令和4年11月11日 NO.38

尼崎市立金楽寺小学校

校長 中根 孝介



金楽寺小学校 「世界記録達成！？」

“ペットボトルフリップに挑戦”

皆既月食は、ご家族で楽しめましたでしょうか。情報化社会が進み、様々なメディアによる映像を見ることができるようになってきました。こうした映像を有効に活用することはもちろんですが、「実物にふれ、実感を伴った理解を深め、多面的な考え方を育てる」ことは、とても大切なことです。

今週の水曜日に、先日ご紹介していました“ペットボトルフリップ”に挑戦しました。運動場に集まってきた各ファミリー（1年から6年まで各学年1～2名が集まってできた異年齢のグループ）の面々は、すでにやる気満々です。集まってくるなり早々と地ならしを始めたり、練習を始めたりしていました。児童会役員のあいさつの後、いよいよ挑戦を開始です。

平らな床面でも成功させるのはそう簡単ではないのですが、凸凹がある運動場では、さらに難しいのではないかと考えていました。自分でやってみても、10回以上挑戦してやっと1回成功するかどうかぐらいの成功率だったのですが、1分間の挑戦で、各グループ15名ほどいるファミリーの子どもたちは次々と成功させていっていました。中には、見事全員成功させるグループもありました。あと一人成功させれば…という場面になれば、「がんばれ〜」というファミリー全員の応援の声が聞こえてきました。

肝心の結果は・・・集計後、児童会役員が発表してくれました。2回の挑戦のうち、2回目が・・・



なんと455本成功！！



子どもたちからも歓声があがりました。児童数が508名なので当日の欠席者を考慮すると、達成率、約95%です。本当にすごい！金楽寺小学校の子どもたちのパワーを見せつけられました。これは、ギネスブックにも登録されていない記録だそうです。「**金楽寺小学校 世界記録達成！！**」をみんなで喜び合いたいと思います。



【秋晴れの中、挑戦スタート】

悔しい思いをした子もいるかもしれませんが、うまく成功させられなかった低学年のある子に聞くと「最後までがんばれてよかった。」と笑顔で話してくれました。周りの人たちの応援がうれしかったのでしょうか。1回目の挑戦でうまく成功できず「水が少ないんちゃうん！？」と言われていた子がいました。そんな子にはファミリーの上の学年の子が自分の分の水を分けてあげていたり、「みんなでちょっとずつ分けてあげよ」と工夫しながら助け合っている姿も見られました。年下の仲間を思う優しい気持ちがとてもほほえましくもあり、うれしくもありました。金楽寺小学校のめざす子ども像「つながる やりぬく おもいやる」に向けた積み重ねの成果が垣間見られて、全校生が集まってファミリーで挑戦した意義を強く感じられました。小さな成長かもしれませんが、金楽寺小学校はこうした積み重ねを続けて、子どもたちを育てていきます。



【「さあ、やるぞ！お願い！！」】



【水を入れてあげるわ】